

SAS® Regulatory Content for IFRS 17

規制に準拠した会計記入と報告書作成のための包括的かつ段階的なアプローチ



	31Dec2015	es10_ifrs	es10_ifrs_at_27	es10_ifrs_at_59s	31
	Value Am...	Value Am...	Value Amount	Value Amount	Val
Liability for incurred claims	-1,908.00	-636.00	-636.00	-636.00	
Liability for remaining insurance coverage	-1,436.13	-476.07	-476.07	-476.07	
1. PV of future insurance contract related...	-1,436.13	-476.07	-476.07	-476.07	
2. Risk Adjustment	0.00	0.00	0.00	0.00	
3. Service Margin	0.00	0.00	0.00	0.00	
Liability for remaining insurance coverage - Loss Component	0.00	0.00	0.00	0.00	
Reinsurance assets for remaining insurance coverage received	0.00	0.00	0.00	0.00	
Reinsurance share in incurred claims	0.00	0.00	0.00	0.00	

	31Dec2015	es10_ifrs	es10_ifrs_at_27	es10_ifrs_at_59s	3
	Value Am...	Value Am...	Value Amount	Value Amount	Val
Comprehensive Income	-240.87	-87.93	-72.93	-80.00	
1. Underwriting Margin	-240.87	-87.93	-72.93	-80.00	
1. Insurance Contract Rev...	-2,208.00	-736.00	-736.00	-736.00	
2. Insurance Expenses	1,967.13	648.07	648.07	656.00	
2. Investments Results	0.00	0.00	0.00	0.00	
3. Other comprehensive in...	0.00	0.00	0.00	0.00	

IFRS17は、財務の透明性向上のために設計された原則主義の会計基準です。2022年に発効になると、IFRS17は保険業界に動揺をもたらす可能性があります。

この新しい規制は、各種の計算処理に関してだけでなく、企業の財務状況について開示される各種指標に関しても、多大な変化を生じさせることとなります。この規制は保険会社に対し、保険契約や再保険契約がどのように財務とリスクに影響するかをより詳細に報告することを要求します。

保険業界には、新しい指標群とそれらに基づく事業運営に慣れるための一定の時間が必要です。新しい数値が早く利用できるほど、好ましい状況と言えます。

主な機能

データ管理から、要求される計算処理や報告書作成に至るまで、IFRS17の実装を成功させるために必要な全てのアプローチ（例：ポスティングデータの生成、プロセス管理、ガバナンスなど）をサポートする統合ソリューションです。

ビジネスメリット

結果と指標のタイムリーな追跡管理、規制要件への対応、保険数理／リスク管理／財務の担当者間のコラボレーションを実現および促進することができます。このソリューションは、データとアナリティクスのオーケストレーション（連携調整）から、リスクや収益性のレポート生成に至るまで、重要なIFRS17対応機能群を統合することで、保険会社における各種ソリューション（保険数理、会計、その他の関連領域）への投資を保護します。

対象ユーザー

SAS Regulatory Content for IFRS 17は、会計、保険数理、ITなど全ての業務分野のユーザーのための、単一の包括的なコンプライアンス・プラットフォームです。

利点

- 単一の包括的な視野を獲得：** リスク計算と財務計算を統合することにより、情報フローと、「期待／実績キャッシュフローを全ての関係者に報告するプロセス」をとともに合理化／効率化できます。SAS Regulatory Content for IFRS 17は、結果と指標のタイムリーな追跡管理、規制要件への対応、担当者間のコラボレーションを実現および促進します。
- データの収集と検証を一元管理：** SASのソリューションは、保険会社のシステム（保険契約管理、保険数理、会計）から直接、実績のベースライン・データを収集する工程に加え、キャッシュフロー計算に必要な保険数理データや本番データなど複数のソースから取得したデータを検証する工程をサポートしています。データの品質、透明性、可監査性が確保されるため、保険会社は規制要件や会計要件に対処しながら、信頼できる結果を得られるようになります。
- ワークフローの管理：** ワークフロー管理機能が、SASの柔軟なルールエンジンとの連携を通じ、現在および将来のIFRS17が求める会計ルールや報告ルールに対処するためのジョブフローの連携調整（オーケストレーション）をサポートします。これには、割引／未割引キャッシュフローの計算からレポート生成に至るまでの各段階（ステージ）における

データ検証も含まれます。レビューと承認のプロセスをワークフローの任意のステージに追加することも可能です。

- 保険契約タイプ別に適切な方法論と測定手法を適用：** 導入後すぐに利用できる機能には、保険契約タイプのカテゴリ分類機能や、グループ化要件に対処するための機能も含まれます。SASのソリューションは、保険負債に関してIFRS17が規定する3つの価値評価アプローチを全てサポートしています。これにより、保険会社は保険（および再保険）の商品ラインに対し、どの計算手法でも任意に選択して実装することができます。
- 会計システムへの転記のために検証済みの結果を準備（ステージング）：** SASのソリューションは、保険会社の会計システムと連携して転記前レポートを生成します。この機能はマルチGAAPおよび複数通貨の両方に対応しています。レポート機能は結果の集計および脱集計化にも対応しているため、レポート利用者は契約レベルの情報や詳細な分析にドリルダウンすることができます。通貨機能とローカリゼーション機能により、保険会社は、個々の子会社についてローカル通貨および本国の通貨の両方でレポートを作成することや、地域や商品ラインを横断して全社規模で結果を集計することも可能です。

概要

IFRS17の要件を満たすためには、個々の保険商品に対して最良のアプローチを判断することが求められます。

詳細かつ正確なデータが不可欠になるため、改善されたルールやプロセスの導入が必要となります。様々な新しいモデルの実装も必要になるでしょう。新しい検証ルールやリコンサイル・ルールを定義する必要性や、新しいレポートを準備し、全ての当事者に対して説明する必要性も生じます。そして最後に、これら全てを、明確に構造化されたプロセスとして実装する必要があります。

包括的なプラットフォーム

SAS Regulatory Content for IFRS 17を活用すると、保険会社は、保険契約の会計処理に関する重要要素だけでなく、構造化される必要のあるワークフロー・プロセスも対象として、IFRS17の全ての要件を満たすことができます。SASは以下の要素／機能を含む包括的なアプローチを提供します。

- 事前定義済みの保険モデル
- データ管理とデータガバナンス
- ビジネスルール管理
- 3種類の計算アプローチ
- 一連の事前定義済みレポート
- プロセス管理

このソリューションは3種類の計算手法 — ビルディング・ブロック・アプローチ (BBA) / 一般測定モデル (GMM)、保険料配分アプローチ (PAA)、変動手数料アプローチ (VFA) —

のためのビジネス・コンテンツに加え、配賦手法と開示レポートを提供します。

リスク・財務の統合のためのアナリティクス・フレームワーク

SAS Regulatory Content for IFRS 17は、基底をなすプラットフォームからコンテンツが分離されるように開発されています。共通のフレームワークが基盤テクノロジー要素を統合し、その統合基盤上で様々なビジネス・コンポーネントが機能します。これらのビジネス・コンポーネントは、処理機能やデータを共有することが可能です。計算のための単一データソースを確保することは、リスク管理と財務管理の両面にとって、さらには、より特殊な追加の計算処理にとって、極めて重要です。

段階的な実装を選択可能

SASのソリューションなら、IFRS17プロジェクトを段階的に実装することも可能です。保険会社は、成熟度が低めのプロセス群から徐々に取り組みを開始し、その後、ポートフォリオ全体に適用可能な高度なプロセス群へと移行することができます。

プロセス・オーケストレーション

プロセス・オーケストレーション (連携調整) 機能は、「リスク／財務データ収集の管理」、「集計と配賦」、「IFRS17が規定する各種指標の計算」、そして「会計記入と開示用書類の生成」のための統合環境を提供します。この環境は、これらの活動をIT部門、保険数理部門、財務部門にまたがって調整および実施する手段となります。

ダッシュボード機能を標準搭載しており、エンド・トゥ・エンド (最も上流から最も下流まで) のプロ

セスの実行をモニタリングし、問題のある領域をタイムリーに特定することが可能です。対象となる活動には「データ管理」、「計算実行」、「シナリオ管理」、「データビューを提供するワークシート」、「連結、計画、レポート作成 (監督機関向けの提出書類のためのファイル・パッケージの管理を含む)」、「プロセスのオーケストレーションと監査」などが含まれます。

補助元帳

補助元帳には、取引の詳細なサブセットが含まれており、補助元帳内の総取引額が総勘定元帳へと集積されます。補助元帳の種類にもよりますが、補助元帳には取引の日付、摘要、請求額、支払額／領収額に関する情報が含まれている可能性があります。

SASの補助元帳コンポーネントは、SASのIFRSワークフロー・プロセスにおける重要な統制ポイントを提供します。このコンポーネントは保険会社の財務部門に対し、「取引の詳細をレビューし、(事前定義済みのルールを用いて) 総勘定元帳への転記前に修正を施す機会」を提供します。

IFRS17対応における主要な課題の1つは、既存の保険数理システム群が断片化している状況に起因しています。これらのシステムはグループ別に個別のキャッシュフローを生成し、その結果が会計システムの分析と結合されます。保険会社がグループレベルでこのワークフローに従う場合、契約レベルで分析を実行することは不可能になってしまいます。

より統合度の高い分析を提供するために、SASのソリューションは保険数理システムや会計システムの外側にあるSASデータストアの中で、



図1: IFRS17準拠の計算およびレポート作成プロセス

データを収集・保管・結合します。契約に関する全ての重要な詳細情報が、SASの補助元帳に収集・保管されます。これにより、さらなる分析（例：what-if分析）に基づく洞察を導き出す機会がもたらされます。SASの補助元帳からは、要約レベルのエントリが定期的に総勘定元帳に記録されます。そして、保険会社がこの要約情報を含む総勘定元帳勘定について詳しい情報を調査する場合には、SASの補助元帳にアクセスして特定の取引の詳細情報をレビューすることができます。SASの補助元帳コンポーネントでは、以下のことを行えます。

- 会計イベントの保管と管理
- 元帳の勘定科目一覧表の保管と管理
- マッピング・ルールの定義
- リバースエントリ、反復、手動更新などのポストイングデータの生成
- 会計処理の定義、勘定の明細、マッピング・ルール、転記（レビュー、更新、取消、再実行）に対する運用管理の提供

データ管理

データ管理機能は、保険会社がデータから価値を引き出すことを可能にします。具体的には、接続性の確立とメタデータの一元管理、データのクレンジング、ETL（抽出／変換／ロード）、データの移行と同期、データ連携、マスターデータ管理などの機能が含まれます。IT部門とビジネス部門のコラボレーションを念頭においた設計により、SASのデータ管理機能は生産性とユーザーの洞察を向上させます。

データのアクセスを向上させるために、以下を提供することが可能です。

- SAS Data Surveyor for SAP：SAP B/Wのメタデータへのアクセスを提供します。この機能は生産性を向上させ、SAPとの統合に要する時間とコストを削減します。
- SAS Federation Server：セキュアなキャッシュデータに対するダイナミックなデータ・マスキングを提供します。この機能は、物理的なデータ移動を伴わない統合仮想ビューを通じて、複数の従来型ソースやビッグデータ・ソースをオンデマンドで処理します。
- SAS/ACCESS® ソフトウェア：60種類以上のデータソースに対するシームレスかつ透過的な読み書きや更新アクセスを提供します。リレーショナル・データベース、HadoopやImpalaなどのビッグデータ・テクノロジー、非リレーショナル・データベース、PCファイル、データウェアハウス・アプライアンスなどに対応しています。

主な特長

IFRS17対応のプラットフォーム

- データ品質管理、契約のグループ化、元請保険／再保険契約グループに関するCSM（契約上のサービスマージン）計算（BBA/GMM、PAA、VFA）のためのテンプレート群
- ハイパフォーマンスなインメモリ方式の計算処理
- 計算処理の透明性と可監査性

IFRS17準拠のレポート

- 計算や転記において適用される測定単位にまで掘り下げることができる、詳細なヒストリカル財務レポート
- 貸方／借方の勘定構造に影響を与えた科目・項目について、その指標値の詳細（変分・変動要因・ムーブメント）にまでドリルダウンできるレポート
- データの完全性（全ての必須のデータ・パッケージと全ての必要なクロスセクションの提供）、データの正確性（無効な値、データの確度）、データの適切性に関するレポート
- エンティティ別の全てのプロセスの進捗具合（および、各ステップが所定時間内に完了したかどうかや、どのユーザーが遅れているか）に関するプロセス品質レポート
- 内部統制レポートや経営管理レポートを含む、各種の内部レポート。その他のレポートをお客様の要件に基づき実装プロジェクト中に追加することも可能
- データソースへのドリルバック機能
- 複数のフォーマット（XLS、XBRL、XML、CSVファイル）によるレポート
- 規制当局のインフラ（例：e-filing／電子申告）との統合も可能
- セキュリティ、監査証跡、バージョン管理を完備したデータベース

段階的な実装

- 業界のベストプラクティスに基づく段階的な実装作業が可能
- 一連のプロセス（データの準備、検証、計算、配賦、レポート作成）の定義テンプレートを作成可能。また、このテンプレートのインスタンスとして計算処理を実行可能

プロセス・オーケストレーション

- データ収集機能（データ抽出、データ品質チェック、データ・エンリッチメント、最終検証を含む）
- 入力データをレビューし、必要な調整を施すことが可能
- 割引／未割引キャッシュフローを3種類のアプローチで計算することが可能
- ユーザーの操作で計算結果を表示することが可能。この段階で追加の検証ルールを適用することも可能
- 事前定義済みの勘定階層に基づきポストイングデータを生成することが可能。この段階で手動調整を施すことも可能
- 結果の追加的な分析のために、総勘定元帳に転記する前に、試算表レポートを準備することが可能
- データ・パッケージを他のシステム（総勘定元帳やレポート領域）に送信することが可能
- このプロセスのほとんどのステップには、適切な権限を持つユーザーによるサインオフが必須
- アラート駆動型のレビュー／承認プロセス
- コラボレーションとワークフローの定義

補助元帳機能

- データを詳細レベルで保管するための専用データモデル
- 複数の会計基準をサポート
- 複数の通貨をサポート
- IFRS17対応のための勘定構造の定義
- IFRS17特有のポストイングラールの定義
- 当初CSM、CSM償却、リスク調整、現在価値変動分析の計算と保管
- バランスシート（詳細な開示を含む）や包括利益計算書のためのポストイングデータの生成

データ管理

- 事前定義済みでありながら拡張も可能なデータモデル
- コンフィグレーション／マッピング／ファクトの各テーブルを備えたランディング領域
- 測定値／ポストイングデータの各テーブルを備えた結果データ領域
- データのアーカイブ機能
- 入力データの量、完全性、正確性をチェックするためのデータ品質ルール
- データガバナンス機能（ビジネス用語集、メタデータ管理機能、リネージ・ビジュアル化機能、参照データ管理機能）

（次ページへ続く）

データの統合と変換に関しては、以下を提供することが可能です。

- SAS Data Loader for Hadoop: セルフサービス型のビッグデータ・アクセスを可能にします。ビジュアルライゼーションやアナリティクスに使用するHadoopデータのプロファイリング、変換、準備を行えます。
- SAS Data Management: データの結合、変換、グレンジング、ガバナンスを可能にします。レポートの作成、データウェアハウスへのデータ入力 (ETL 経由)、レガシー・アプリケーション/データベースのモダナイズ、アナリティクスの実行などの目的のために利用できます。

データの品質とガバナンスに関しては、以下を提供することが可能です。

- SAS Data Quality: データのクレンジング、標準化、変換を可能にすることで、レポートやアナリティクスの精度向上や、ビジネス上の意思決定的確化を促進します。
- SAS Data Governance: ポリシー、プロセス、ルールの整備を通じて、一貫性と透明性に優れたデータ管理と、ビジネス部門とIT部門の連携向上を実現します。

ビジネスルール

SASのビジネスルール機能は会計プロセスの透明性と順応性を実現し、保険会社がIFRS17対応プロセスを速やかに開始できるようにします。IFRS17の転記ルールのデータベースから、複数のルールを組み合わせてルールフローに組み込むことができます。パブリッシュされたルールフローは、他のアプリケーションでも利用可能です。

レポートング

IFRS17に準拠した内部レポートと開示用書類は、SAS Visual Analyticsのレポートとして標準装備されています。これにより、保険会社は当初は不明確だったパターンや関係性を容易に特定できます。対話操作型かつセルフサービス型のBI/レポートング機能と、簡単に使える高度なアナリティクス機能が融合されているため、誰もが洞察を発見できます。これは全社レベルでの利用にも規模拡大できる、使いやすいセルフサービス環境です。

主な特長 (前ページより続く)

ビジネスルール

- 計算結果がどのように勘定に割り当てられるべきかを定義する転記ルール
- アプリケーション内部でデータテーブルのリストを管理することが可能
- ビジネス語彙機能により、エンティティと用語 (ビジネスルールの組み立てに使用される構成要素) を定義することが可能
- 式エディタ機能により、個々のビジネスルールの条件とアクションを定義することが可能
- ルールセットはデシジョンテーブル内に表示され、デシジョンテーブルの各行は単一のルールに関する条件とアクションを定義
- ルールセットのバージョン管理機能は、本番環境に投入されるルールセット/フローの完全性およびガバナンスの確保を促進するために、静的バージョンを作成
- ルールフローのオーサリングとパブリッシュ

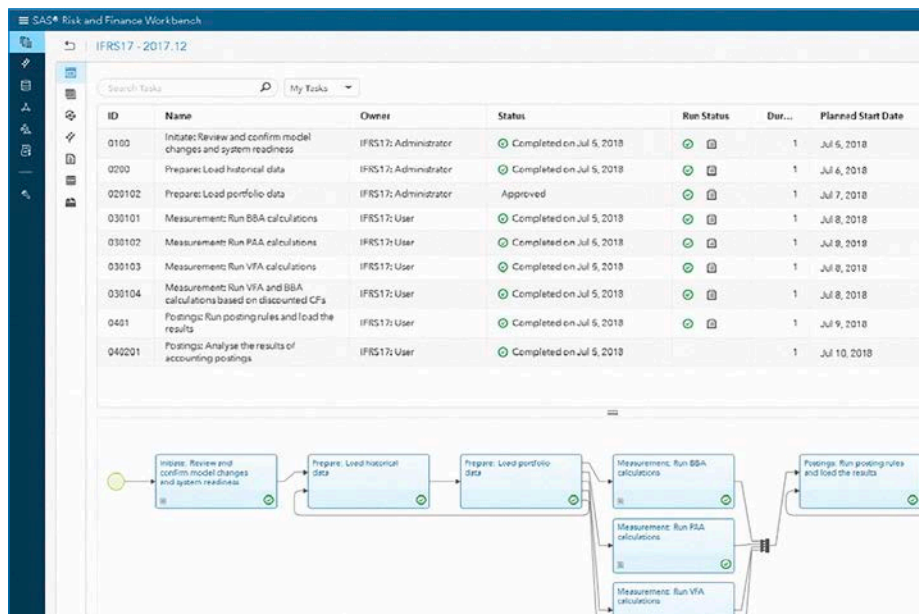


図2: IFRS17対応のプロセスフローとタスク

さらに詳しい情報は »

SAS Regulatory Content for IFRS 17の詳細なシステム要件と関連資料の閲覧については、sas.com/ifrs17にアクセスしてください。

SAS Institute Japan 株式会社 www.sas.com/jp

jpnasinfo@sas.com

本社 〒106-6111 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 11F
大阪支店 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館 12F

Tel: 03 6434 3000 Fax: 03 6434 3001
Tel: 06 6345 5700 Fax: 06 6345 5655

sas
THE POWER TO KNOW.